

進路だより HP ver.

第1号 笠間高校進路指導部
令和5年 5月12日 発行

進路室の紹介と活用法

本校の進路室は、本校舎の2F東側にある3つの教室の総称です。進路に関する資料が廊下に並んでおり、壁に上級学校等のポスターが多く貼られているのが目印です。

- **進路資料室 [21]**：求人票、会社案内のファイルや、大学・専門学校の資料・問題集などが置かれています。
進路相談や模擬面接の練習、学習活動、履歴書添削指導などに使用します。



- 進路学習室 [22]：個別の学習机がありますので、どんどん活用してください。来客の対応にも使用されます。エアコンが設置されています。



- 進路指導室 [23]：来客の対応に使用されます。また、大学・短大・専門学校の学校案内や就職者向けの問題集などのたくさんの資料があり、資料によっては貸出が可能なものや、持ち帰り自由なものもあります。



■ 進路室の使用上の心得

- ①開閉時間・・・平日の昼休み、放課後(～16:50) / 長期休業中 9:00～12:00
※長期休業中の開放日は、休業前にお知らせします。
- ②利用上の注意
 - ・室内では私語や飲食は禁止です。
 - ・清掃時間の入室は遠慮する。
 - ・昼休み、放課後以外の利用については、係教員に許可をとる。
 - ・資料を切り抜いたり書き込みをしたりしない。使用後はもとの場所に戻す。
 - ・担任・その他の教員が「進路相談」等で利用する場合は、係教員に申し出る。
 - ・問題集等の貸出は、係教員に申し出、貸出簿に記名して行う。
(貸出期間は、1週間とする。)
 - ・室内のものは、無断で持ち出さない。

■ 進路室前の廊下の壁には

- ・大学・短大・専門学校のオープンキャンパスの案内が掲示してあります。
また、公務員の講習会や試験の日程等のお知らせもあります。積極的に確認して下さい。

令和4年度の卒業生は大学進学者が19名でした。多くの生徒は学校推薦型で受験しましたが、その中で2名の生徒は国公立大学の合格を勝ち取りました。他にも総合型入試などで夏から準備をし、合格を得た生徒もいます。美術系の大学は、高い実技の力が求められるのはもちろんですが、共通テストに備えて早い時期から課外などを利用し、学科にもしっかりと取り組んでいました。就職の場合も、自分の希望を実現させるために、早く自発的に取り組んだことが成功につながっています。進路の準備は、3年生になって急にできることばかりではありませんので、1・2年生も裏面のアドバイスを読んで自分の進路についてよく考え、必要な準備を進めて下さい。疑問に思ったことは、担任の先生を始め進路の先生にも遠慮なく相談して下さい。

就職希望の皆さんへ アドバイス

① 勉強しよう！筆記試験で6割とれなければ採用は難しい

就職試験の筆記試験は非常に重要です。人物が立派でも、漢字の読み書き・計算などの基礎学力がないと採用は極めて難しく、運良く就職できたとしても業務をこなせません。

② 普段やっていないと、いざというときに出来ません！

企業の採用担当者の方々の方はごまかせません。笠間高校内での基準よりもはるかに厳しい目であなたの様子を観察しています。
「地」は隠せません。学校生活から服装を整える。先生とすれ違う時に挨拶をする。

③ 「人は見た目が9割」！

人はまず外見で相手を判断します。中身は外見に現れます。清潔感があって爽やかな印象は気持ちも良いものです。頭髪服装検査の目的を再確認して下さい。基準は「面接の身だしなみ」です。

④ 「自分の言葉で説明ができる」表現力を身に付けよう！

試験の場だけでなく、就職してからも人とのコミュニケーションは不可欠です。日頃から「相手に伝わるように」ということを意識して表現しましょう。「自分はこうだ」という自分中心の考えではなく、「相手はどう思うか」を常に気にしましょう。

進学希望の皆さんへ アドバイス

① 保護者と具体的に学費の相談をしよう

進学では年間120万～150万円のお金がかかります。特に、専門学校は合格内定後2週間ほどで100万円程度のお金を納める必要があります(分割が可能な場合もあります)。進学にかかるお金がどれくらいで、「いつ」「いくら」支払う必要があるのか、先生に聞いたり、きちんと調べたりした上で、保護者とよく相談してください。

② 就職を見据えた進学先選びを

進学であってもいずれは就職します。親から独立し、生活できるだけの収入を得なければなりません。「なんとなく好きな分野だから」だけで進学して、高い学費を払っても就職できなければ意味がありません。卒業後の将来を見据え、進学先を考えましょう。

③ 自宅学習は必ずしよう

4年生大学への進学を目指している場合は、授業だけでは学力が受験にも入学後もとても足りません。毎日少なくとも2～3時間の家庭学習に取り組みましょう。また、小論文や国立大学等の面接対策は短期間では身に付けられません。2年生までに大学入学共通テストや志望校の過去問題に目を通し、傾向と対策に取り組みましょう。

④ 進学課外受講のススメ

進学希望者は、必ず進学課外を受講しましょう。一人ではつい甘えてしまう勉強も、高い目標を持つ友人達と共に取り組めば頑張れます。また、「勉強のコツがつかめない」「レベルの高い勉強をしないと受験に間に合わない」という人に特にオススメです。本校では進学課外、模擬試験、共通テスト対策課外など、希望に応じて対応しています。